

# ほんの たね

図書館が心に残っている本をご紹介します。今回は、同書です。

私が子どもの頃初めてなりたかったのは「魔女」でした。

その頃、ルンルンやメグちゃんやアッコちゃんやサリーちゃん、奥様魔女までいて、テレビの中は魔女だらけでした。彼女たちが魔法を使って繰り広げる痛快なおはなしを楽しんで観たものでした。魔法の道具の花の鍵やコンパクトが欲しくてたまらず、呪文やウィングを練習し、いつか大きくなったら魔法が使えるようになると信じていました。

1 つ違いの姉と毎日毎日、魔法の練習をしたものです。さすがに大きくなってくると道具を手に入れても、呪文がどれだけうまく言えるようになって何も起きないことが分かってきました。がっかりしましたが、今でも魔法が出てくる物語は大好きです。

今回は魔女が出てくる本、3冊を紹介します。

## 1) 『めざめれば魔女』

ニュージーランドの作家マーガレット・マーヒーの代表作です。現代の生活の中に魔法がじわじわりこんでくる怖さと、児童書にしては少し大人の雰囲気のある恋愛要素があり、大人でも楽しめる1冊です。

## 2) 『西の魔女が死んだ』

「西の魔女」とよぶ祖母から「魔女修行」を受けることになった主人公まい。イギリス人の祖母から教わる魔女修行は「なんでも自分で決める」こと。実際に魔法が出てくるわけではないけれど子どもが大人になる、そんな瞬間を描いたとても素敵な1冊です。

## 3) 『魔女の宅急便』

言わずと知れた日本児童文学の魔女本の代表作。第1巻は魔女のキキが修行のため海辺の大きな町コリコで宅急便のお店を開くお話から始まります。読み進めていくとキキの成長や恋愛、周囲の人々などどんどん話は広がってきます。全6巻に特別編3巻があります。

秋には東京・江戸川区に新しい児童文学館「魔法の文学館」ができます。『魔女の宅急便』の世界観と児童文学のすばらしさを紹介する文学館だそうです。

図書館の児童担当としても魔女好きとしても興味があるのでぜひ行ってみたいと思っています！ (I)

## 大好きな本

### 1) 『めざめれば魔女』

マーガレット・マーヒー／作 清水真砂子／訳  
岩波書店 (JB マ)

### 2) 『西の魔女が死んだ』

梨木香歩／著 新潮社  
(YB カ)

### 3) 『魔女の宅急便』

角野栄子／作 林明子／画  
福音館書店 (カ)

# 9月の行事

| 日         | 月  | 火           | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----------|----|-------------|----|----|----|----|
|           |    |             |    |    | 1  | 2  |
|           |    |             |    |    |    |    |
| 3         | 4  | 5           | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 新刊<br>お話し | 休館 |             |    |    |    |    |
| 10        | 11 | 12          | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 新刊<br>お話し |    |             |    |    |    |    |
| 17        | 18 | 19          | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 新刊<br>お話し |    | 赤ちゃん<br>お話し |    |    | 休館 |    |
| 24        | 25 | 26          | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 新刊<br>お話し |    |             |    |    |    |    |

<日曜> 新刊本を出します。

新刊コーナーにご注目！

毎週11時から、幼児から  
小学生低学年向けのお話会が  
あります。

<火曜> 第3火曜日11時から、

赤ちゃん向けお話会  
があります。

## 編集後記

この夏は、図書館の夏のイベント  
が帰って来ました！

参加して下さった方々の嬉し  
うな笑顔で夏の暑さも吹き飛んだ  
気がしています。

ご意見・ご感想・ご要望等あり  
ましたらカウンターまでお寄せくだ  
さい。(M)

# すがもらいぶらり

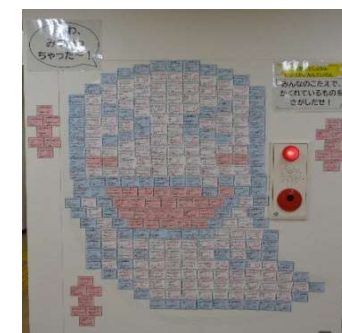
2023年9月5日 栄鴨図書館発行

残暑が続いておりますが、日が落ちるのも少しずつ早くなり、秋の訪れを感じます。夏休みシーズンはガイドブックが多く借りられていた印象がありますが、秋の行楽シーズンに向けても是非、図書館の資料をご活用ください。

さて、大盛況であった夏の児童向けイベントについて紹介いたします。児童の利用者に「ようかいたんてい」となり、クイズを解いてもらいました。地下1階のすがもぎゃらりに、解いていただいたクイズ用紙を利用しておばけとちょうちんを作成し、イベント終了後もしばらく展示いたしました。ご覧いただいた児童からは「かわいい〜!」「参加しなかったけれど、この展示を見るだけでもうれしい」との感想をいただきました。

地下1階のスペースは今後も様々な展示に活用予定です。どうぞ楽しみになさってください。

(館長)



わ〜!「ようかいたんてい」の子どもたちに見つかった!

「ようかいたんてい」の活躍により地下1階に浮き上がったおばけ

「ようかいたんてい」の参加者にはオリジナルのしおりをプレゼントいたしました。



じぞうくんより…  
9月の2階の特集コーナー(階段を上がってすぐのスペースです)は、「美味しいSTORY」です。是非、お手にとってみてください。





## 食いしん坊司書の部屋



この春から豊島区の司書  
になったフレッシュ司書  
Nさん。  
瑞々しい記事を書いてく  
れました！

皆さんはトーストに何を付けて食べますか？ピーナッツバター？マーガリン？それも美味しいですが、定番はジャムなんじゃないかと個人的には思ったりもします。スーパーに行けば必ず手に入り、今やコンビニエンスストアにも当たり前のように置いてあるジャムですが、基本の作り方は意外とシンプルです。容器とジャムにする素材、グラニュー糖、ものによってはレモン汁を用意すれば大抵のフルーツジャムは作れちゃったりします。私はお料理初心者ですが、つい最近、イチゴジャムの作成に挑戦しました。

ジャムは保存食の一種ですが、長期保存の第一段階として、ジャムを入れる容器を選ぶところから始まります。ガラス瓶は煮沸消毒が出来るのでジャムの容器に向いているそうです。確かに巷で見かけるジャムはほとんどがガラス瓶で販売されているような気がします。また、瓶の中いっぱいにジャムを詰めて密閉するのが失敗しないコツです。瓶詰めジャムって、きらきらしていて素敵ですね。

容器が準備出来たら下ごしらえに入ります。鍋に入れたイチゴにグラニュー糖を混ぜ込みます。水分が十分に上がってくるまで待つのがポイント。私はこれが出来なくて火にかけた後がちょっと大変でした……。強めの火加減でゆるいとりみが出るまで混ぜつつ、アクもしっかり取ります。なんと、これで完成です。簡単ですね。私のおすすめはビスケットにつける食べ方です。日々の楽しみとして、おひとつ作ってみてはいかがでしょうか。

### 紹介した本

『おいしいジャムBOOK』  
飯田順子 著 (596 イ)

『くだものおいしい作りおき-果実酒・果実酢  
ジャム・シロップ-』ワタナベマキ 著 (596.7 ヲ)

『新版 いちごのお菓子』若山曜子 著  
(596.6 ヲ)

## じぞうさんぽ【突撃！ 隣の図書館】



猿田彦大神庚申堂



すがも鴨台観音堂。11月上旬には、  
「すがも中山道菊まつり」で賑わいます



通りすがりの木に巨大な蟬が！  
よく見ると……束子？



羊歯が素敵なお庚申堂手水舎  
(これのみ2022年11月撮影)



大正大学の種子地藏。お隣には種子屋街道に  
ついての看板も



真っ赤な幟が目を引く延命地藏尊

### お供本

『一粒入魂! 一日本の農業をささえた種子屋』  
豊島区立郷土資料館 (615 イ) (2階栄鴨特色)  
『路傍の庚申塔—生活のなかの信仰—』  
芦田正次郎／著 慶友社 (387 ア) (2階栄鴨特色)  
『北区史跡散歩』 芦田正次郎／著 工藤信一／著  
学生社 (291.3 ト)  
『発掘写真で訪ねる北区古地図散歩』 坂上正一／著  
フォト・パブリッシング (中央・駒込所蔵)

旅のお供に  
ふさわしい図書館

### ＜西栄鴨一駅さんぽ＞

今回ご紹介するのは、**北区立滝野川西図書館**。所在地は都営三田線の西栄鴨駅から徒歩5分。これでは近すぎるので、出発はちょっと手前の都電荒川線庚申塚停留場に行ってみました。庚申塚停留場はJR栄鴨駅前から続く地藏通り商店街の端にあります。**とげぬき地藏**に近く、ホームに甘味処がある停留場としても有名です。都電を降りたら、地藏通りを栄鴨駅方面へ。すぐの交差点に停留場名の由来となった**猿田彦大神庚申堂**があります。栄鴨は江戸時代、中山道第一の宿場板橋宿の手前の立場（休憩所）として賑わっており、ここは「江戸名所図会」にも描かれている名所でした。

引き返して都電の線路を渡り、西栄鴨方面へ。**延命地藏尊**の看板に惹かれて左側の路地に入ると、赤い幟に囲まれた一角があります。元禄時代、中山道で行き倒れた人馬を供養するために建立されたという延命地藏の他、庚申塔や馬頭観音などが祀られています。通りをさらに5分ほど歩くと、右側に八角形の塔が見えてきました。この塔は、**すがも鴨台観音堂**（通称**さざえ堂**）。大正大学の施設ですが、申し込み不要で自由に拝観できます。入り口で「参拝のしおり」（おみくじ付き）をいただいて、60段の階段を上ります。途中から、水音と小鳥の囀りも聞こえてきて、下界の酷暑が嘘のような涼やかさ。頂上階にはご本尊の**鴨台観音**（聖観自在菩薩）が安置されています。截金細工も華やかな、新しい仏像です。観音様の背景と下りの階段の壁には滝が描かれており（by 千住博画伯）、先ほどの水音の正体がうかがえました。

明治通りを渡って北区滝野川に入ると、右側の建物の壁に**種子屋街道**についての掲示がありました。大正大学の隣にも古い種子屋の建物が残っており、栄鴨～滝野川6丁目あたりが昔、種苗業者が集まる地域だったことが解説されています。掲示の3つ先の角を右折し、銭湯のある路地を抜けて白山通りに出たところに、滝野川西区民センターがあり、ここの5階が**滝野川西図書館**です。ワンフロアの小規模館ですが、渋沢栄一や新選組（近隣の寿徳寺に近藤勇の墓があるため）についてのコーナーなど、地域性を意識した棚作り。児童室には、カワセミなど、地元のバードカービングクラブの方の作品が飾られていました。ご近所の方にはお勧めの図書館です（住所要件は制限なしですが、北区在住・在勤・在学の方以外はインターネットと電話での予約ができませんのでご注意ください）。帰りは白山通りを7分ほど歩いて、庚申塚停留場のお隣の**新庚申塚停留場**へ。都電一駅さんぽでした。